

ひさんな戦争やめて

古聖南小 字女五年 宮城 ほか

総合的な学習の時間に、沖繩戦について調べよう」とテーマで、沖繩戦についての本を読んだり、資料を調べたりしました。

六十五年前の戦争では、たくさんの方の命がうばわれました。この沖繩で、こんなひどい戦争があったなんて・・・とびっくりすることばかりです。

私が一番ショックだったことは、沖繩の私たちアメリカ兵だけではなく、日本兵にも殺されたということです。自分や家族の命を守るために、お墓の中や、自分たちで穴をほつたりしてかくれていたのに、日本兵が、かくれる場所や食料をうばったり、言うことを聞かなかつた人の命を簡単にうばってしまったりと、ひさんなことがおきたということですね。かくれ場所からおいだされたり、大切な人を殺されたり、とてもくやしがつただろうな、と思います。

戦争が終わった今、生き残った人たちは、  
「もう二度と戦争をしない」と、ちがいました。  
た。しかし、沖縄戦で亡くなった人の骨は、  
今でもあちらこちらに残され、悲しいサビし  
い思いをしながら、発見されるのをまつてい  
るのではないのでしょうか？

先生が読んでくれた『マブニのアニメー』  
という本は、戦争で亡くなった大切な息子の  
骨を母親がさがし続けるというお話でした。  
雨の日も風の日も毎日、骨をさがし続けるお

母さん。息子と同じように戦争で亡くなった  
人の骨を一つずつ大切に拾い、手を合わせ、  
骨に語りかけ……。十一年目にして自分  
の息子の骨を見つけました。このときには、  
私も「やっと会えましたね。よかったですね。」  
と声をかけたくまりました。でも、戦争さえ  
なければ、こんな悲しい思いをする人はいな  
かったのと思うとやっぱりくやしいです。

私は、今、家族や友達にかこまれて、とて  
も幸せな毎日を送っています。でも、もっ

ともつと六十五年前の戦争のことを知らなければいけないと思いました。戦争のときにおこったことを、こわいかもしれないけど、悲しいことかもしれないけど、しつかりうけとめて、二度と戦争のない平和な沖縄、日本、世界であつてほしいと思えます。私も、平和であるためには、どんなことが大切か、考えていきたいです。